



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場会社名 サカイオーベックス株式会社  
 コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 松木伸太郎  
 (氏名) 塚本博己

TEL 0776-36-5800

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	9,450	7.6	243	297.7	311	338.6	228	48.4
22年3月期第2四半期	8,783	△24.9	61	△36.3	71	△26.8	154	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.54	—
22年3月期第2四半期	2.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	18,338	7,235	39.3	111.54
22年3月期	18,235	7,173	39.1	110.61

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 7,199百万円 22年3月期 7,138百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	3.9	400	100.4	400	66.6	350	△3.4	5.42

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 68,362,587株 22年3月期 68,362,587株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 3,820,296株 22年3月期 3,818,441株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 64,543,566株 22年3月期2Q 64,547,544株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前半は新興諸国の経済成長に伴う輸出の回復や政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調を辿りましたが、後半からは中国の成長鈍化や米国経済の減速等の不安要因に加え、急激な円高に伴う輸出関連産業の業績悪化懸念により、先行きが不透明な厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業況は、主力の染色加工事業及びその他の事業のうち電子機器関連事業が景気の回復基調を受け増収となり、原価低減活動と固定費削減の効果もあり増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は9,450百万円と前年同期比667百万円(7.6%)の増収となり、営業利益は243百万円と前年同期比182百万円(297.7%)の増益、経常利益は311百万円と前年同期比240百万円(338.6%)の増益、四半期純利益は228百万円と前年同期比74百万円(48.4%)の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### (染色加工事業)

当事業では、スポーツ用途の薄地織物や医療資材用途の編物が堅調に推移し、自動車関連資材用途及びユニフォーム用途も前年同期と比較して増加したことから、売上高は5,756百万円と前年同期比513百万円(9.8%)の増収となり、営業利益は93百万円と前年同期比142百万円の増益(前年同期は49百万円の損失)となりました。

#### (繊維販売事業)

当事業では、医療資材事業の貼付剤用支持体が堅調に推移しましたが、テキスタイル販売及びアパレル販売では、個人消費低迷の影響を受け婦人衣料用途が減少しました。テキスタイル販売ではスポーツ用途やユニフォーム用途の拡販、アパレル販売ではインナー用途の拡販を行いました。事業全体では減収となりました。当事業全体の売上高は2,178百万円と前年同期比50百万円(△2.3%)の減収となりましたが、物流経費や販管費の圧縮に努めた結果、営業利益は110百万円と前年同期比8百万円(8.2%)の増益となりました。

#### (その他の事業)

その他の事業については、電子機器関連では民間設備投資の回復傾向を受け、自動制御装置関連等が回復基調となったことにより、織布関連では高密度薄地織物が堅調に推移したことにより、売上高は1,515百万円と前年同期比204百万円(15.6%)の増収となり、営業利益は30百万円と前年同期比25百万円(502.7%)の増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加して18,338百万円となりました。現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加などにより流動資産は440百万円増加して6,226百万円となり、固定資産は337百万円減少して12,111百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加して11,103百万円となりました。短期借入金の減少などにより流動負債は93百万円減少して6,496百万円となり、「資産除去債務に関する会計基準」の適用による資産除去債務の計上などにより、固定負債は135百万円増加して4,606百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加して7,235百万円となりました。これは、評価・換算差額等は減少したものの、株主資本が228百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は39.3%、1株当たり純資産は111円54銭となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は953百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1,140百万円の収入(前年同期は1,065百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益262百万円のほか、減価償却費409百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は282百万円の支出(前年同期は126百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出及び投資有価証券の取得による支出によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は682百万円の支出(前年同期は790百万円の支出)となりました。主な要因は、借入金の圧縮によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、経営環境の先行きが依然として不透明であることから、平成22年5月14日に公表した連結業績予想から修正は行っていません。修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しています。

これにより、税金等調整前四半期純利益は78,689千円減少しています。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,010,280	820,026
受取手形及び売掛金	3,110,926	2,955,996
有価証券	999	999
商品及び製品	499,677	520,115
仕掛品	643,796	473,949
原材料及び貯蔵品	243,356	289,223
その他	744,714	756,432
貸倒引当金	△26,905	△30,376
流動資産合計	6,226,845	5,786,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,375,891	3,440,475
機械装置及び運搬具(純額)	1,553,388	1,791,142
土地	2,665,076	2,689,302
その他(純額)	179,719	122,397
有形固定資産合計	7,774,075	8,043,318
無形固定資産		
その他	65,759	67,463
無形固定資産合計	65,759	67,463
投資その他の資産		
出資金	2,075,771	2,096,066
その他	2,197,918	2,243,743
貸倒引当金	△2,101	△1,436
投資その他の資産合計	4,271,588	4,338,372
固定資産合計	12,111,423	12,449,155
資産合計	18,338,269	18,235,521

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,589,327	2,329,118
短期借入金	2,957,902	3,607,902
未払法人税等	90,868	30,676
賞与引当金	290,812	138,772
その他の引当金	17,300	17,480
その他	550,014	465,950
流動負債合計	6,496,223	6,589,899
固定負債		
長期借入金	3,531,530	3,564,247
退職給付引当金	477,783	421,542
その他の引当金	6,580	6,580
資産除去債務	100,329	—
負ののれん	936	1,859
その他	489,626	477,442
固定負債合計	4,606,784	4,471,671
負債合計	11,103,008	11,061,571
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	1,402,824	1,174,154
自己株式	△795,756	△795,511
株主資本合計	7,299,474	7,071,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,312	88,621
繰延ヘッジ損益	△10,657	732
為替換算調整勘定	△112,773	△21,495
評価・換算差額等合計	△100,117	67,858
少数株主持分	35,903	35,042
純資産合計	7,235,260	7,173,950
負債純資産合計	18,338,269	18,235,521

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	8,783,358	9,450,808
売上原価	7,667,198	8,140,543
売上総利益	1,116,159	1,310,264
販売費及び一般管理費	1,054,910	1,066,671
営業利益	61,249	243,592
営業外収益		
受取利息	1,347	1,227
受取配当金	15,405	14,538
負ののれん償却額	1,022	922
持分法による投資利益	34,055	70,982
その他	40,836	50,300
営業外収益合計	92,666	137,972
営業外費用		
支払利息	65,322	56,482
その他	17,563	13,528
営業外費用合計	82,885	70,010
経常利益	71,030	311,554
特別利益		
固定資産売却益	91	3,906
助成金収入	58,233	32,446
貸倒引当金戻入額	7,918	5,810
その他	2,708	—
特別利益合計	68,953	42,163
特別損失		
固定資産除却損	5,199	10,777
投資有価証券評価損	—	8,243
事業整理損失引当金繰入額	—	1,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,245
その他	55	2,693
特別損失合計	5,254	91,459
税金等調整前四半期純利益	134,728	262,258
法人税、住民税及び事業税	35,300	76,029
法人税等調整額	△37,809	△43,314
法人税等合計	△2,508	32,714
少数株主損益調整前四半期純利益	—	229,543
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△16,820	873
四半期純利益	154,057	228,670



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	134,728	262,258
減価償却費	438,827	409,954
のれん償却額	△612	△922
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△86,037	△2,807
受取利息及び受取配当金	△16,752	△15,765
支払利息	65,322	56,482
為替差損益(△は益)	509	1,089
持分法による投資損益(△は益)	△34,055	△70,982
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△3,906
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	68,245
売上債権の増減額(△は増加)	383,606	△154,930
たな卸資産の増減額(△は増加)	180,585	△109,437
仕入債務の増減額(△は減少)	△194,870	260,208
その他	266,836	497,280
小計	1,138,089	1,196,767
利息及び配当金の受取額	16,752	15,765
利息の支払額	△64,951	△56,367
法人税等の支払額	△24,548	△15,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,065,342	1,140,327
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△123,324	△152,840
有形固定資産の売却による収入	2,215	37,057
投資有価証券の取得による支出	△3,881	△150,210
その他	△1,050	△16,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,041	△282,605
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△865,000	△805,500
長期借入れによる収入	1,120,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,045,198	△1,177,217
自己株式の取得による支出	△283	△244
配当金の支払額	△262	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△790,744	△682,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	△509	△1,089
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	148,047	173,640
現金及び現金同等物の期首残高	670,107	779,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	818,155	953,358

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	染色加工事業 (千円)	繊維販売事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,242,930	2,229,412	1,311,015	8,783,358	—	8,783,358
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,656	16,221	233,133	251,012	(251,012)	—
計	5,244,586	2,245,634	1,544,149	9,034,370	(251,012)	8,783,358
営業利益又は営業損 失(△)	△49,368	102,464	5,110	58,206	3,042	61,249

(注) 1. 事業区分の方法は、「日本標準産業分類」を参考に、当社管理上の区分を勘案して区分しています。

2. 各事業に属する主要な製品の名称

染色加工事業	製品名	織・編物の染色整理加工品
繊維販売事業	製品名	織・編物、繊維製品、衣料品、生活雑貨品 等
その他の事業	製品名	撚糸品及び織・編物の製織品、F A関連機器、電子機器基板及び人工魚礁、建設不動産業 等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	101,189	519,705	637,987	1,258,882
II 連結売上高(千円)	—	—	—	8,783,358
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合(%)	1.1	5.9	7.3	14.3

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しています。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりです。

(1) 北米 ……米国、カナダ

(2) アジア ……香港、シンガポール、中国、韓国、その他の諸国

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、コア事業である染色加工を中心に、糸加工・製織・染色・縫製・販売といった各セクション間の有機的な連携のもと、トータルなテキスタイル・コーディネート機能を提供し、さらに、テキスタイル技術をベースに、多角的な事業を展開しています。

当社は、事業部門を基礎とした、製品・サービス別及び生産・販売体制別のセグメントから構成されており、「染色加工事業」「繊維販売事業」の2つを報告セグメントとしています。

「染色加工事業」は、受託又は当社垂直一貫体制での染色整理加工であり、「繊維販売事業」は繊維製品、縫製品その他の製品の販売です。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,756,483	2,178,909	7,935,392	1,515,415	9,450,808	—	9,450,808
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,511	8,766	14,277	232,552	246,830	△246,830	—
計	5,761,994	2,187,675	7,949,670	1,747,968	9,697,638	△246,830	9,450,808
セグメント利益	93,141	110,891	204,032	30,799	234,832	8,760	243,592

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額8,760千円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。